



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月9日

上場会社名 株式会社 南陽

上場取引所 東 福

コード番号 7417 URL <https://www.nanyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 篠崎 学

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 井上 毅

TEL 092-472-7331

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日

2023年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	18,088	2.7	1,200	4.5	1,364	5.1	871	4.6
2023年3月期第2四半期	18,593	11.7	1,257	8.8	1,438	9.6	913	5.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,232百万円 (13.4%) 2023年3月期第2四半期 1,087百万円 (34.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	136.49	
2023年3月期第2四半期	143.27	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	37,563	23,420	62.3
2023年3月期	41,064	22,723	55.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 23,420百万円 2023年3月期 22,723百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		15.00		86.00	101.00
2024年3月期		15.00			
2024年3月期(予想)				70.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	3.4	2,700	9.0	2,800	13.2	1,800	16.1	282.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	6,615,070 株	2023年3月期	6,615,070 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	230,551 株	2023年3月期	236,299 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	6,381,652 株	2023年3月期2Q	6,375,664 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンドの増加や人流の回復、雇用・所得環境の改善が見られたほか、個人消費が底堅く推移する等、緩やかな回復基調が継続しました。その一方で、原材料・燃料価格の高騰、世界的な金融引締め政策の継続、中国をはじめとした海外経済の下振れ懸念等の影響から、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループの連結業績につきましては、概ね計画通りに推移し、売上高は18,088百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は1,200百万円（前年同期比4.5%減）、経常利益は1,364百万円（前年同期比5.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は871百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 建設機械事業

建設機械事業におきましては、資源価格の高騰による商品価格の値上げや部品不足による長納期化が一部で継続する等、厳しい状況で推移する中、販売部門においては展示会等を活用し社会インフラの補修に関連する商品や高粗利商品の販売強化に努めるとともに、レンタル部門においても官需、民需の取り込みに注力してまいりました。しかしながら、値上げに伴う買い控え等により全体の案件数が減少したことにより、売上高は6,570百万円（前年同期比5.4%減）、セグメント利益は780百万円（前年同期比11.8%減）となりました。

#### ② 産業機器事業

産業機器事業におきましては、高度化や省人化を目的とした設備投資は底堅く推移した一方で、中国経済の失速や、米中関係の悪化による影響を受け、半導体市場、ロボット市場においては稼働率が低迷する等、不安定な状況で推移する中、設備案件の受注残を着実に消化するとともに、新規顧客の開拓にも努めてまいりました。この結果、設備案件については堅調に推移したものの、生産部品、消耗部品の需要が減少したことにより、売上高は11,316百万円（前年同期比1.0%減）となりました。その一方、セグメント利益につきましては利益率の向上により749百万円（前年同期比14.6%増）となりました。

#### ③ 砕石事業

砕石事業におきましては、事業を展開する地域においては民間・公共工事ともに小規模案件が中心となる等、厳しい状況で推移する中、高単価製品の販売に注力するとともに、輸送費、燃料費等のコスト削減にも努めてまいりました。しかしながら、全体の取引量が減少したことにより、売上高は201百万円（前年同期比9.9%減）、セグメント利益は0百万円（前年同期比96.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

資産は、前連結会計年度に比べ3,500百万円減少(8.5%減)し、37,563百万円となりました。増減の主な内容は、現金及び預金が2,285百万円、受取手形及び売掛金が1,840百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度に比べ4,197百万円減少(22.9%減)し、14,143百万円となりました。増減の主な内容は、支払手形及び買掛金が1,944百万円、電子記録債務が1,578百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べ696百万円増加(3.1%増)し、23,420百万円となりました。増減の主な内容は、利益剰余金が322百万円、その他有価証券評価差額金が258百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.3%と前連結会計年度に比べ7.0ポイント上昇いたしました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ2,285百万円減少(36.9%減)し、3,906百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその増減の要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金の減少は384百万円(前年同期は763百万円の増加)となりました。これは主に、売上債権の減少、税金等調整前四半期純利益の増加及び減価償却費の計上があったものの、これらを上回る仕入債務の減少があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金の減少は1,092百万円(前年同期は1,865百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金の減少は830百万円(前年同期は659百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は、概ね計画どおりに推移しており、業績予想の修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,248	3,962
受取手形及び売掛金	11,640	9,799
電子記録債権	3,232	3,586
商品及び製品	3,825	3,698
仕掛品	310	506
原材料及び貯蔵品	25	22
その他	1,351	946
貸倒引当金	△434	△432
流動資産合計	26,199	22,090
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	8,396	8,436
その他(純額)	3,241	3,282
有形固定資産合計	11,637	11,719
無形固定資産		
のれん	369	330
その他	183	392
無形固定資産合計	552	722
投資その他の資産		
投資有価証券	2,299	2,691
その他	391	356
貸倒引当金	△17	△16
投資その他の資産合計	2,673	3,031
固定資産合計	14,864	15,473
資産合計	41,064	37,563

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,958	5,013
電子記録債務	5,953	4,374
短期借入金	1,625	1,490
1年内返済予定の長期借入金	38	13
リース債務	539	650
未払法人税等	656	397
賞与引当金	412	325
役員賞与引当金	92	36
その他	1,065	686
流動負債合計	17,340	12,986
固定負債		
その他の引当金	432	436
退職給付に係る負債	373	383
その他	194	335
固定負債合計	999	1,156
負債合計	18,340	14,143
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,181	1,181
資本剰余金	1,025	1,032
利益剰余金	19,549	19,871
自己株式	△221	△215
株主資本合計	21,535	21,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	847	1,106
繰延ヘッジ損益	△1	9
為替換算調整勘定	341	434
その他の包括利益累計額合計	1,187	1,549
純資産合計	22,723	23,420
負債純資産合計	41,064	37,563

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	18,593	18,088
売上原価	15,153	14,627
売上総利益	3,440	3,461
販売費及び一般管理費	2,182	2,260
営業利益	1,257	1,200
営業外収益		
受取利息	40	33
受取配当金	20	22
持分法による投資利益	19	18
為替差益	83	36
その他	27	62
営業外収益合計	190	173
営業外費用		
支払利息	9	10
その他	0	0
営業外費用合計	9	10
経常利益	1,438	1,364
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	5	—
特別利益合計	6	1
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	—	2
投資有価証券評価損	—	12
特別損失合計	0	14
税金等調整前四半期純利益	1,444	1,351
法人税、住民税及び事業税	521	416
法人税等調整額	8	63
法人税等合計	530	480
四半期純利益	913	871
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	913	871



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	913	871
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	254
繰延ヘッジ損益	4	10
為替換算調整勘定	135	54
持分法適用会社に対する持分相当額	52	41
その他の包括利益合計	173	361
四半期包括利益	1,087	1,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,087	1,232
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,444	1,351
減価償却費	949	1,007
のれん償却額	—	38
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	47	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29	△87
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△15	10
受取利息及び受取配当金	△60	△56
支払利息	9	10
持分法による投資損益 (△は益)	△19	△18
固定資産除売却損益 (△は益)	△0	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	12
売上債権の増減額 (△は増加)	△482	1,518
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△220	△54
仕入債務の増減額 (△は減少)	7	△3,528
その他	△296	8
小計	1,327	210
利息及び配当金の受取額	83	81
利息の支払額	△9	△12
法人税等の支払額	△638	△664
営業活動によるキャッシュ・フロー	763	△384
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,480	△925
有形固定資産の売却による収入	148	119
無形固定資産の取得による支出	△13	△284
投資有価証券の取得による支出	△152	△2
投資有価証券の売却による収入	13	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△330	—
その他の支出	△54	△3
その他の収入	4	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,865	△1,092
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△134	△142
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△97	△113
長期借入金の返済による支出	—	△26
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△426	△548
財務活動によるキャッシュ・フロー	△659	△830
現金及び現金同等物に係る換算差額	44	21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,716	△2,285
現金及び現金同等物の期首残高	7,971	6,192
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,254	3,906

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,944	11,426	223	18,593	—	18,593
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	16	—	26	△26	—
計	6,954	11,442	223	18,620	△26	18,593
セグメント利益	885	654	8	1,547	△289	1,257

(注) 1 セグメント利益の調整額△289百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「産業機器事業」セグメントにおいて、株式会社エイ・エス・エイ・ピの全株式を取得し、連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては388百万円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,570	11,316	201	18,088	—	18,088
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37	14	—	52	△52	—
計	6,608	11,330	201	18,140	△52	18,088
セグメント利益	780	749	0	1,530	△329	1,200

(注) 1 セグメント利益の調整額△329百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。